



石田裕一



上越市議会市政レポート／No.18

灯の回廊

★令和4年2月26日(土)、今年も「灯の回廊」が開催されました。

- 安塚区「安塚キャンドルロード」 ●大島区「大島雪ほたるロード」
- 浦川原区「うらがわら雪あかりフェスタ」 ●牧区「まき深山のともしび」
- 高志地区「高士ルミネ」 ●名立区「不動ミニキャンドルロード」

中山間地域を結び、雪国の山里をキャンドルの光で彩りました。
 人口減少、少子高齢化が進み、過疎化が進む地域を元気にしています。
 コロナ禍の中、沈む心を豊かに、今年も多くの皆様からお越しいただきました。
 これからも地域を盛り上げていきます。

●私が協力参加した「うらがわら雪あかりフェスタ」浦川原体育館の準備の様子(コロナ禍ですが30名の皆さんが協力)



●「うらがわら雪あかりフェスタ」を中心に私が見てきた山里に灯る、やわらかな雪あかりに感動!!



★新しく中川上越市長になり、初の議会で論戦〔令和3年11月30日〕



12月定例会・総括質疑

●令和3年12月定例会・総括質疑
中川・新市長に対して会派「みらい」を代表して質疑を行う。関心が高かったのは「4人市長制条例改正」「市長給与15%削減」「政策諮問委員を設けて民間から登用」でした。給与カット以外、否決される。

中川市長との初質疑の様子



★中川・新市長に問う〔令和3年12月9日〕

令和3年12月定例会・一般質問（議会だより“かけはし”No.213）

（質）新市長の「まちづくり」のビジョンと財政健全化の取組みの継続について

（答）上越市の魅力に磨きをかけ、日本で最も暮らしやすいまちを目指す。
市の財政は楽観できない中で、財政健全化に引き続き取り組む。

（質）トリプル選挙での投票率向上の取組みは

（答）期日前投票は浸透し、選挙広報の配布は選挙期日の前々日までに各世帯に届くように町内会にお願いしたが、より効果的な配布を研究する。

（質）2020東京オリンピック・ホストタウン推進事業の成果と今後の取組みについて

（答）国際交流や共生社会への意識を高めることに寄与し、今後もドイツの体操と柔道の関係団体の意見を聞き、息の長い交流に向けて検討を進める。



12月定例会・一般質問



★【上越市食料農業農村議員連盟】研修会〔令和3年12月21日〕

●「農業を取り巻く情勢について」（講師）宮崎 豊 氏（上越市農業再生協議会事務局長）

●「新潟県をめぐる農業情勢について」（講師）藤田 悟 氏（上越地域振興局農林振興部副部長）

新潟県では令和3年度下記の3つの重点課題に取り組む。

- ①園芸販売1億円産地を育成するための計画策定及び実践
上越地域で1億円を目指す5品目（枝豆ほか）・ほ場整備地区における園芸導入
- ②中山間地域における持続可能な農村・農業の仕組みづくり
令和3年度から10年、「ビレッジプラン2030」に取り組む
- ③異常気象に対応した新潟米の品質・収量の向上
コロナ禍で主食用米の需要減少に伴い、非主食用米（主に飼料用米）の多収・低コスト生産により農業所得の確保



★【上越市議会議員勉強会】〔令和4年1月20日〕

●「住民参加によるコミュニティデザインの視点から観光を考える」

講師：山崎 亮 氏（studio-L代表、慶応義塾大学特別招聘教授）

「観光」は文字の通り、その地域の「光を観る」ことが最大の目的である。山崎さんは何百万人の方が訪れる、観光客が増えることではなく、向かい入れる地域の人々が満足できたかが大切であると言う。目指すのは地域の人々が地域の人と取り組んで人生が楽しくなる住民参加で作り上げる「観光」が重要であると、大きなヒントをもらった。



★文教経済常任委員会の活動

◆産業観光交流部「第三セクター等の経営健全化の推進」〔令和3年12月24日〕

産業観光交流部が所管する「よしかわ杜氏の郷」と「うみてらす名立」の2つの施設は民営化に向けて検討に入る。「うみてらす名立」は指定管理者の公募で、現指定管理者「ゆめ企画名立」の株式を長野県の企業「(株)BJ」に譲渡し、子会社として再建する。「よしかわ杜氏の郷」もコロナ禍で売上減少、経営不振で、民営化に向けて、醸造文化を守りながら検討に入る。



◆佐渡汽船(株)「直江津・小木航路維持と観光を中心とした広域連携」〔令和4年2月9日〕

佐渡汽船(株)は厳しい経営状況の中、自主再建を目指していたが、コロナ禍で厳しい状況は変わらず、2021年12月期も含め3期連続の赤字になり、第三者等による財政支援についても探っていた。このたび民間会社の「みちのリホールディングス」から15億円の支援を受けて、その子会社となり、リスタートすることになった。第四北越銀行からも支援を受け、今後は佐渡汽船、新潟県、佐渡市、上越市、みちのリホールディングスとの連携協定を結び「直江津・小木航路」存続を目指す。



◆各層との意見交換会「飲食・宿泊事業者等」〔令和4年2月25日〕

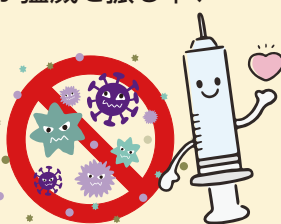
テーマは「コロナ禍における地域経済の実態」について、意見交換を行った。新型コロナウイルスが感染拡大して2年が経ち、新潟県では1月21日～3月6日まで約1カ月半の間、初めて「まん延防止等重点措置」が適用されて、まったくお客さんがいない状態が続き、これまで経験したことのない厳しい現状を聞いた。これからは、コロナ禍の中でもしっかりと動き出さなければいけないと強く感じた。



★新型コロナウイルス調査対策特別委員会・開催(令和4年1月25日)

新型コロナウイルス感染の第6波、「オミクロン株」が猛威を振る中、市内の感染状況とその対応について調査した。

- ①市内における感染状況とその対応について
- ②ワクチンの追加接種(3回目)について
- ③小中学校における感染状況について
- ④経済対策(事業者経営支援金等)について



まだまだ終息はしていないが、今後も感染拡大防止に努め、「ウイズコロナ」を考えていく。



★「上越市議会防災士議員連盟」の設立〔令和3年3月22日・発会〕

上越市議会では「防災士」の資格を有する議員10名で、「上越市議会防災士議員連盟」を設立し、私も加入した。目的は、町内会や防災士会が進める防災士活動を議員の立場からサポートし、安全で安心な社会の実現に寄与することを目的に勉強会や視察を行い研鑽に努めている。

◆令和3年11月16日に勉強会を開催

テーマ「防災士議員に期待する事」と題して、市民安全課及び危機管理部より、昨冬の大雪災害対応の検証結果の説明を受け、今冬の対応に向けて、課題の共有をおこなった。



勉強会終了後、
危機管理部より災害時の
「簡易テント」設営体験



活動レポート

石田裕一が議員としてどのような活動をしているのかを知っていただき、市政に関心を持っていただきたいと思います。

★UMAファミリーコンサート2021

令和3年11月28日



今年度もコロナ禍の中、感染拡大防止に努めて開催

★浦川原区認定農業者会

令和3年12月10日



令和3年度コシヒカリ品質コンテスト、米の品質向上に努める

★うらがわらジュニアスポーツフェスティバル

令和3年12月12日



「スポーツ」っていいね。2年ぶりの開催で、みんなで楽しんだ!

★上越市韓日友好親善交流会

令和3年12月16日



2年ぶりの交流会「サムルノリ」韓国・打楽器演奏

★令和4年・新年祝賀会

令和4年1月4日



2年ぶりの開催で、新年を祝う同僚の小林議員、山田議員と私

★地元・顕聖寺集落「さいの神」

令和4年1月16日



地元・顕聖寺町内会「さいの神」で無病息災を願う

★新市長表敬訪問

令和4年2月3日



上越市内4つの上越、名立、頸北浦川原の「手をつなぐ育成会」

★6区議員勉強会

令和4年2月11日



- ①佐渡汽船(株)とみちのりHD出資契約
- ②地域医療構想(新潟県重点支援区域)

★上越市地域青少年育成会議協議会

令和4年2月13日



2年ぶりにzoomオンラインで結び開催市内22の育成会議で意見交換会

私の思い

2022年、上越市議会議員として任期後半、折り返しの年を迎えました。令和4年度に向けて動き出します。この残りの2年も、私の所属する右記の会派「みらい」のメンバーと共に連携して、さらに開かれた議会を目指し取り組んで参ります。今後も皆様のご意見をお寄せ下さい。ご支援を宜しくお願い致します。

★会派「みらい」



発行 **上越市議会議員 石田 裕一**

上越市議会市政レポートNo.18

令和4年3月発行

■住所 〒942-0314 上越市浦川原区顕聖寺80-30
 ■TEL・FAX 025-599-3808
 ■E-mail u1_ishida160-2@at.wakwak.com

■ホームページ <https://ishida-yuichi.jp>
 ※ブログ「NEWゆうちゃんの天天向上」毎日更新中!

石田裕一 検索